

きょう と し た ぶん か し さく こん わ かい 京都市多文化施策懇話会 ニュースレター No.4

へんしゅう ほっこう きょう と し た ぶん か し さく こん わ かい じ む きょく きょう と し そうごう き かく きょく こく さい か すい しん し つ
編集／発行：京都市多文化施策懇話会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）
2011（平成23）年9月30日発行

2011（平成23）年度第1回会議を開催しました

- <日 時> 2011（平成23）年6月29日（水）午前9時30分から12時まで
<場 所> 京都市国際交流会館
<議 題> 新規に来日した外国籍市民等について



第1回会議では、東日本大震災が留学生に与えた影響や京都市内の留学生についての報告を、それぞれ担当委員がおこないました。また、京都市内で活動するフィリピン人コミュニティの方にゲストとしてお越しいただき、新規に来日した外国籍市民等について意見交換を行いました。

報告1 ー 東日本大震災前後の留学生の現状と今後 ー

大震災が日本で生活する留学生に与えた影響について

報告2 ー 京都市の留学生について（アンケート調査をもとに） ー

京都で生活する留学生たちの声と、留学生にとって住みよい京都の姿について

ー フィリピン人コミュニティの方々との意見交換 ー

京都市内で活動しているフィリピン人コミュニティの活動と、フィリピンにルーツをもつ児童の教育について

— 東日本大震災前後の留学生の現状と今後 —

～東日本大震災の影響～

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、日本国内に在住する留学生の生活に大きな影響を与えました。日本の留学生の半数近くが一時帰国し、約1割は学校を退学して完全に帰国してしまいました。また、この春に来日して留学生生活を始める予定だった人のうち、実際に入学している人は6割程度です。一方で近畿地方では、7～8割の留学生が震災前と変わらず生活しています。



— 担当委員の意見 —

- 留学生が一度日本への入国や大学への入学予定を中止・延期すると、改めてもう一度入国・入学の許可を得るのは難しい。東日本大震災で一度は日本での生活を諦めた外国籍の人が、希望すれば再び日本で留学生生活を送ることができるよう、柔軟に対応することが必要である。
- 大震災を受けて留学生が入学先を被災地域や東日本の学校から近畿の学校へ変更しようとしても、制度上認められないことが多い。少しでも留学生が日本で生活しやすいような仕組みづくりが求められている。
- 震災の影響で、中国・韓国・台湾を中心に日本への留学希望者が大きく減少している。短期留学の機会を増やすなどの工夫とともに、日本、そして京都が安心・安全であるというPRをしていくことが大切である。

2010 (平成22) 年度報告書を提出しました。



2011 (平成23)年4月22日(金)、多文化施策懇話会を代表して小川伸彦座長が、「2010 (平成22)年度報告書」を門川大作京都市長に提出しました。

多文化を学ぶ教育・保育、行政情報の多言語での提供、地域での多文化交流活動の促進等についての提言を受けた門川市長は、「多文化の息づくまちづくりに向けて、行政と市民とが一緒に取り組むことが重要だと考えています。多様な文化が交わり合い、新しい地域交流の力になってくれることを期待しています」と述べました。

※報告書を御希望の方は事務局まで御連絡ください。また、報告の内容は京都市国際化推進室のホームページに掲載しています。

きょうと し りゅうがくせい
～京都市の留学生へのアンケートから～

げんざい きょうと だいがく たん き だいがく にん こ りゅうがくせい ざいせき りゅうがくせい
現在、京都の大学・短期大学には5,000人を超える留学生が在籍しています。留学生のな
かには、大学の国際課以外に じょうほうていきょう そうだんまどぐち し がくせい おお
多くの留学生が来日して最初にぶつかる問題は共通しています。かなりの割合の人が、日
本での生活をはじめるとあたって、マンションや電気・ガス・水道、インターネットなどの
けいやく ぎんこうこうざ かいせつ くろう
契約、銀行口座の開設などに苦労しています。

だいがく そつぎょうご にほん しゅうしよく せいかつ つづ き ぼう がくせい おお ことば かべ
大学卒業後も日本で就職して生活を続けることを希望する学生も多くいますが、言葉の壁
せいかつしゅうかん ちが りゅうがくせい しゅうしよくかつどう きび げんじょう
や生活習慣の違いがあり、留学生の就職活動は厳しいのが現状です。

たんとう いいん いけん
— 担当委員の意見 —

りゅうがくせい き がる せいかつ そうだん まどぐち ふ よ だいがく
・ 留学生が気軽に生活のことを相談できるカウンセリング窓口が増えると良い。大学によっ
ては、にほんじん がくせい らいにち りゅうがくせい せいかつ いちたいいち
日本人の学生ボランティアが来日したばかりの留学生の生活を一对一でサポートす
るとりくみ おこな
る取組を行っているところがある。

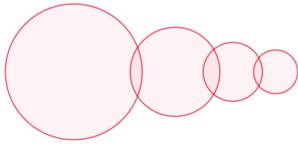
きょうと し りゅうがくせい がいこくせきとう し じん む せいかつ た げんご じょうほうていきょう
・ 京都市では留学生をはじめ、外国籍等の市民へ向けて生活ガイドなど多言語での情報提供
おこな
を行っている。こういった情報が必要とされている所に届いて十分活用されるよう、情報
のゆしゆ とうたつじょうきょう かんが ていきょう し かた くふう よ きょうと せいかつ やくだ じょう
の入手・到達状況も考えながら、提供の仕方を工夫すると良い。京都での生活に役立つ情
ほう てい い りゅうがくせい きょうつう なや もんだい きょうゆう
報を手に入れたり、留学生に共通している悩みや問題を共有したりできるウェブサイトが
あると、こま たす
あると、困ったときに助けになる。

じん かたがた いけんこうかん
フィリピン人コミュニティの方々との意見交換

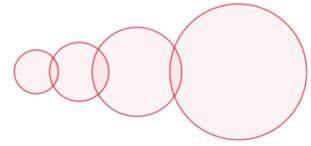
きょうとし ない やく にん こくせき かた す
京都市内には約1,000人のフィリピン国籍の方が住んで
います。懇話会では、京都市内に住む約100人のフィリピ
ん系住民から成る「京都パグアサ・フィリピーノ・コミュニ
ティ」のメンバー3人にゲストとしてお越しいただき、かいぎ
で報告していただいたうえで意見交換を行いました。



ほうこく いけんこうかん とく にほん ざいじゅう けいじどう せいかつ わだい
報告・意見交換では、特に日本に在住するフィリピン系児童の生活が話題となりました。フィ
リピン系児童と言っても、フィリピンで生まれ育って日本に移住してきた子供もいれば、にほん
で生まれ育った子供もいます。こういった子供たちは、日本語が話せないため学校や地域に溶
け込めなかったり、日本で生まれ育った本人は日本語ができて、おや にほんご はな
かか もんだい さまざま かだい たい にほんごのうりよく じゅうぶん ほごしゃ む
抱えている問題は様々です。こういった課題に対し、日本語能力の十分でない保護者へ向けた、
こども きょういく しんろ がくしゅう
子供の教育や進路についての学習プログラムがあればいい、という意見や、たよう ぶんかてきはいけい
多様な文化的背景をもつフィリピン系児童が交流する機会が増えるといい、との意見が出されました。



きょうと し りゅうがくせい し さく 京都市の留学生施策について



おほ だいがく けんきゅう き かん あつ だいがく きょうと し へいせい ねん ど りゅうがくせいすう
多くの大学や研究機関が集まる「大学のまち」京都市では、2017（平成29）年度に留学生数を
まんにん ふ もくひょう かか りゅうがくせい す みりよくてき め ざ
1万人に増やすという目標を掲げています。留学生にとって住みよい魅力的なまちを目指して、
きょうと し さまざま りゅうがくせい し さく じっし
京都市では様々な留学生施策を実施しています。

きょうと りゅうがくせいじょうほう — 京都留学生情報サイト —

りゅうがくせい やく た じょうほう さくせい らいにち ま りゅうがくせい きょうと
留学生にとって役に立つ情報をまとめたウェブサイトを作成し、来日間もない留学生が京都
せいかつ ひつよう じょうほう え せいかつ どう あんない おこな りゅう
での生活に必要な情報を得るための「生活オリエンテーション」等の案内を行っているほか、留
がくせい きぎょう ちいき じょうほうこうかん きょうと し りゅうがくせい じんざい
学生と企業・地域とが情報交換するためのページ「京都市留学生いきいき人材バンク kokoka
りゅうがくせい もうけ
留学生ねっと」も設けています。

りゅうがくせいじょうほう
留学生情報サイトURL： <http://www.kcif.or.jp/ryusite/index.html>

こくみんけんこう ほけんりょう いちぶ ほじょ — 国民健康保険料の一部補助 —

きょうと せいかつ りゅうがくせい こくみんけんこう ほけん かにゅう あんしん びょういん かよ し
京都で生活する留学生が国民健康保険に加入し、安心して病院に通うことができるよう、市
ないざいじゅう し ひりゅうがくせい たいしゅう こくみんけんこう ほけんりょう いちぶ ひとりげつがく えん ほじょ おこな
内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部（1人月額700円）補助を行っています。

りゅうがくせいゆうたい — 留学生優待プログラム —

きょうと だいがくとう ざいがく りゅうがくせい たい し ない ぶん か し せつとう にゅうじょうりょうきん いったい き かん むりょう
京都の大学等に在学する留学生に対し、市内の文化施設等の入場料金が一定期間無料となる
りゅうがくせい ほっこう きょうと し こういきょうがくだん し
「留学生おこしやすPASS」を発行しています。また、京都市交響楽団によるコンサートや市
みんきょうげんかい じ だいまつり とくべつかんらん もよお りゅうがくせい むりょうしゅうたい りゅうがくせい む こうりゅう
民狂言会、時代祭の特別観覧などの催しに留学生を無料招待しているほか、留学生向け交流イ
こくさいがくせいこうりゅうかい まいとしかいさい しょうさい りゅうがくせいじょうほう らん
イベント「国際学生交流会」を毎年開催しています。（詳細は留学生情報サイトをご覧ください）

じ む きょく し 事務局からのお知らせ

ほん ニュースレターや懇話会に関する御意見などがございましたら、下記までお寄せください。

（懇話会の会議はどなたでも傍聴することができます。）

また、懇話会ニュースレターのバックナンバーを御希望の方は、下記までお問い合わせください。

きょうと し た ぶん か し さく こん わ かい じ む きょく きょうと し そうごう き かく きょく こくさい か すい しん しつ
京都市多文化施策懇話会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

きょうと し なかぎょうく てらまちどおりお いけあが かみほんのう じ まえちよう ばん ち
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL075-222-3072 FAX075-222-3055 Eメール:kokusai@city.kyoto.jp

ホームページ：<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000085281.html>